

# 業務状況説明書

(令和5年10月1日から令和6年3月31日まで)

富士見市水道事業

## 1 令和5年度下半期の状況

### (1) 事業の概況

#### ア 営業

令和5年度末における給水人口は、112,729人で、前年度末に比べ256人の増加となっています。

年間配水量は、11,185,450<sup>m</sup>で、前年度に比べ56,460<sup>m</sup>の減少となっており、人口が増加しているにもかかわらず、配水量が減少するという傾向がみられました。

区 分 \ 年 度		令和5年度 (年度末)	令和4年度 (年度末)	比 較	
				増減	比率 (%)
給水人口 (人)		112,729	112,473	256	100.23
配 水 量	総 量 (m <sup>3</sup> )	11,185,450	11,241,910	△56,460	99.50
	1日最大 (m <sup>3</sup> )	34,120	34,030	90	100.26
	1日平均 (m <sup>3</sup> )	30,561	30,800	△239	99.22

#### イ 建設改良事業費

老朽管更新事業については、針ヶ谷1丁目地区の配・給水管布設替 (R2078 外) 工事、大字鶴馬地区の配・給水管布設替 (R1069 外) 工事、大字水子地区の給水管布設替 (R1108) 工事、大字鶴馬地区の給水管布設替 (R759) 工事を実施し、また、大字水子地区の不断水設置 (R5112) 工事で不断水簡易仕切弁を2基設置しました。

浄水場改良事業については、水谷浄水場 No.1 配水ポンプ更新工事を実施しました。また、水谷浄水場 No.2 配水ポンプ更新工事及び東大久保浄水場県水直送管整備工事については、工程に遅れが生じたため、翌年度に繰り越ししました。

配水管改良事業については、羽沢1丁目地区の給水管布設 (R2185 外) 工事、大字鶴馬地区の送水管布設 (R1799 外) 工事、大字上南畑地区の送水管布設 (R27 外) 工事を実施しました。

なお、舗装本復旧工事として、R2144 外、R40 外、B-174 外について実施しました。

(2) 経理の状況（税込）

下半期における経理の状況は、次のとおりです。

ア 収益的収入及び支出

（単位：千円）

科目		予算現額	執行額			執行率 (%)
			上半期	下半期	計	
収入	事業収益	1,879,164	867,336	1,006,882	1,874,218	97.74
	営業収益	1,797,814	866,880	940,141	1,807,021	100.51
	営業外収益	80,850	176	66,741	66,917	82.77
	特別利益	500	280	0	280	56.00
支出	事業費	1,719,411	457,024	1,134,855	1,591,879	92.58
	営業費用	1,668,508	451,742	1,090,405	1,542,147	92.43
	営業外費用	49,703	5,253	44,450	49,703	100.00
	特別損失	200	29	0	29	14.50
	予備費	1,000	0	0	0	—

イ 資本的収入及び支出

（単位：千円）

科目		予算現額	執行額			執行率 (%)
			上半期	下半期	計	
収入	資本的収入	10,908	0	2,243	2,243	20.56
	他会計負担金	4,000	0	2,243	2,243	56.08
	工事負担金	6,908	0	0	0	—
支出	資本的支出	1,113,073	151,699	279,318	431,017	38.72
	建設改良費	1,012,592	101,773	228,764	330,537	32.64
	企業債償還金	100,481	49,926	50,554	100,480	100.00

## 2 令和6年度予算の概要

### (1) 予算編成概要

令和6年度の水道事業予算については、給水人口の微増に伴い、生活用水量（家庭内で使用する水量）も若干の増加傾向と捉え、水道料金の微増を見込んでいる。

しかしその一方で、水道施設を維持するために多額の費用が見込まれることから、水道ビジョンに基づく施設の計画的な整備と維持管理に努め、安心・安全で安定的な水道水の供給を可能とするための事業を中心とした予算編成に努めた。

### (2) 業務の予定量

区 分 \ 年 度		令和6年度	令和5年度	増減
給水戸数（戸）		55,421	54,655	766
配水量	総量（m <sup>3</sup> ）	11,330,557	11,490,598	△160,041
	1日平均（m <sup>3</sup> ）	31,043	31,395	△352

### (3) 予算規模

第3条予算（収益的収入及び支出）の収入は、前年度比1.8%増の19億1,297万2千円、支出は、前年度比2.7%増の17億6,554万6千円で、収支差引では、1億4,742万6千円の黒字を見込んでいる。

第4条予算（資本的収入及び支出）の収入は、前年度比7.3%増の1,170万8千円、支出は、前年度比2.4%減の8億2,997万4千円で、収支差引では、8億1,826万6千円の赤字が見込まれている。

## (4) 収入支出明細書

## 収益的収入及び支出

収 入

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
水道事業収益			1,912,972	
	営 業 収 益		1,826,552	
		給 水 収 益	1,561,590	水道料金の予定額を計上
		受 託 工 事 収 益	22,504	受託工事収益の予定額を計上
		補 償 金	1,060	修繕工事による補償金の予定額を計上
		加 入 金	174,955	加入申込金の予定額を計上
		そ の 他 営 業 収 益	66,443	下水道使用料徴収受託料等を計上
	営 業 外 収 益		85,920	
		受 取 利 息	1,037	預金利子の予定額を計上
		消 費 税 及 び 地 方 消 費 税 還 付 金	17,848	消費税及び地方消費税還付予定額を計上
		長 期 前 受 金 戻 入	66,384	長期前受金の戻入予定額を計上
		雑 収 益	651	その他雑収益を計上
	特 別 利 益		500	
		過 年 度 損 益 修 正 益	500	過年度損益修正益を計上

支 出

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
水道事業費用			1,765,546	
	営 業 費 用		1,756,814	
		原 水 及 び 浄 水 費	919,668	浄水及び送水に必要な経費を計上
		配 水 及 び 給 水 費	173,306	配水及び給水に必要な経費を計上
		受 託 工 事 費	21,890	受託工事に必要な経費を計上
		業 務 費	160,880	検針及び収納に必要な経費を計上
		総 係 費	52,700	事務運営に必要な総括的経費を計上
		減 価 償 却 費	424,860	償却資産に対する減価償却費を計上
		資 産 減 耗 費	3,510	固定資産除却費等を計上
	営 業 外 費 用		6,732	
		支 払 利 息	5,732	企業債及び一時借入金利子を計上
		雑 支 出	1,000	その他雑支出を計上
	特 別 損 失		1,000	
		過 年 度 損 益 修 正 損	1,000	過年度損益修正損を計上
	予 備 費		1,000	
		予 備 費	1,000	

資 本 的 収 入 及 び 支 出

収 入

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
資 本 的 収 入			11,708	
	他 会 計 負 担 金		4,800	
		他 会 計 負 担 金	4,800	一般会計からの負担金を計上
	工 事 負 担 金		6,908	
		配 水 工 事 負 担 金	6,908	開発等に伴う配水工事負担金を計上

支 出

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
資 本 的 支 出			829,974	
	建 設 改 良 費		742,126	
		建 設 総 係 費	28,890	建設に必要な事務費を計上
		老 朽 管 更 新 事 業 費	178,560	老朽管更新に必要な工事費等を計上
		浄 水 場 改 良 費	187,770	浄水場改良に必要な工事費等を計上
		配 水 管 改 良 費	343,459	配水管布設工事費等を計上
		量 水 器 費	3,447	量水器出庫予定額を計上
	企 業 債 償 還 金		87,848	
		企 業 債 償 還 金	87,848	企業債元金の償還金を計上